

愛情点検 長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- いつもより異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 水タンクや本体から水もれする。
- その他の異常や故障がある。

使用を中止し、
故障や事故防止のため
必ず販売店に点検を
ご相談ください。

タイガーコーヒーマーカー保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書の記載内容に基づき無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

型名	ADC-G
★お名前	様
★お住所	〒
★電話番号	
★お買い上げ日	年月日
★取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間(お買い上げ日より)	本体 1年 (消耗品は除く)

＜無料修理規定＞

- ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、ガス害(硫化ガスなど)、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輻、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 虫等の侵入による故障
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 消耗品の交換
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは「保証とサービスについて」をご覧ください。

タイガー魔法瓶株式会社

〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

お客様の
個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社
〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-shop.jp>



修理に関するご案内・受付サイト

<https://www.tiger-forest.com/c/6PZ2>



ホームページアドレス <https://www.tiger-corporation.com>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。



ADC-G型

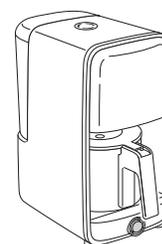


家庭用

コーヒーマーカー
ドリップタイプ

取扱説明書

保証書つき



このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

この製品は日本国内交流100V専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。

This product uses only 100 V (volts), which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after-sales service abroad.

本产品仅限于日本国内的 100V 交流电压下使用。不可在日本之外的国家的不同电压和电源频率下使用。在海外也不提供售后服务。

もくじ

はじめに

- 2-安全上のご注意
- 6-各部のなまえと付属品
- 7-はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき
- 7-コーヒーをおいしく楽しむためのポイント

使いかた

- 8-コーヒーをいれる(サーバーにドリップ)
- 11-コーヒーをいれる(マグカップに直接ドリップ)
- 12-お湯の出具合が悪くなったとき・いつもより抽出時間が長くなる時
- 13-お手入れする

困ったときは

- 14-故障かな?と思ったら

その他

- 15-消耗品・別売品の買い求めについて
- 15-仕様
- 15-保証とサービスについて

裏表紙-連絡先

点検、修理などを依頼される時などに記入しておく便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名	TEL	()	

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

- ◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ◆ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷を負うことが想定される内容です。

注意 傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明

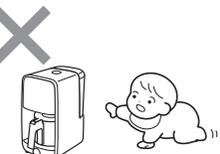
	してはいけない「禁止」内容です。
	実行しなければならない「指示」内容です。

※ 本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

乳幼児には特に注意

警告

禁止 子どもだけで使わせたり、乳幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがのおそれ。



接触禁止 使用中や使用後しばらくは高温部(本体上部・吐出口・抽出口・蒸気孔・フィルター・サーバー台・カップトレイなど)にさわったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。
特に乳幼児には、さわらせないように注意する。



改造はしない

警告

分解禁止 修理技術者以外の方は、分解したり、修理をしない。
感電・けがのおそれ。火災の原因。
修理は、販売店または「連絡先→裏表紙」に記載のタイガーお客様相談窓口、修理受付サイトにご連絡ください。

異常・故障時は

警告

必ず実施 すぐに差込プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。
そのまま使用すると、感電・けがのおそれ。火災の原因。
(異常・故障例)
・ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
・電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
・いつもより異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
・水タンクや本体から水もれする。
・その他の異常や故障がある。

使用する場所に注意

注意

禁止 次のような場所では使わない。
・不安定な場所
・火気の近く
・水のかかりやすい場所
・底部がぬれるような場所
・直射日光が長時間あたる場所
・壁や家具の近く
・熱に弱いテーブルや敷物などの上
・アルミシートや電気カーペットの上
・カーペット・ビニール袋などの上
・室温の高い場所
・IHクッキングヒーターの上
・屋外
感電・漏電・けがのおそれ。
火災・ショート・発煙・発火・故障の原因。
本体の変形、またはテーブル・敷物・壁・家具の変色・変形の原因。

必ず実施 キッチン用収納棚(スライド式テーブル)を使うときは、下記に注意する。
・蒸気孔の上方には十分な空間を設ける。
・中に蒸気がこもらないようにする。
・差込プラグに蒸気があたらないようにする。
・スライド式テーブルは、蒸気があたらないように引き出して使う。
・置く場所の耐荷重を確認してから使う。
感電・けが・やけどのおそれ。
火災・発火・傷み・変色・変形・故障の原因。

使用中・使用後は

警告

禁止 フィルターを取りつけていない状態で使わない。
やけどのおそれ。故障の原因。

禁止 コーヒーサーバー(またはカップトレイとマグカップ)をセットしていない状態で使わない。
やけどのおそれ。故障の原因。

注意

禁止 倒したり落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。
本体・フィルター・水タンク・水タンクふた・カップトレイ・コーヒーサーバーなどが破損してけがをするおそれ。

禁止 抽出中にコーヒーサーバー(またはカップトレイとマグカップ)をはずさない。
やけどのおそれ。テーブル・敷物を汚す原因。

禁止 コーヒーサーバー(またはカップトレイとマグカップ)をのせたまま本体を動かさない。
やけど・けがのおそれ。

必ず実施 続けて使用するときは、本体の熱が冷めるまで(約10分)待つ。
すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。

必ず実施 お手入れは本体が冷えてから行う。
高温部にふれると、やけどのおそれ。

末長くご使用いただくためのご注意

● フィルター・コーヒーサーバー・カップトレイは、使うたびにお手入れする。
→P.13
においの原因。

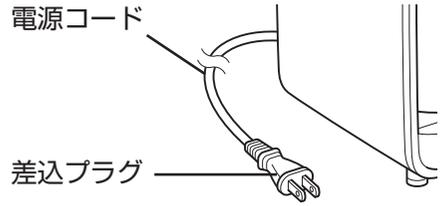
● 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使わない。(テイストマイスター・フィルター・サーバーふた・コーヒーサーバーは除く)
変形・破損の原因。食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使える部品については、P.13「食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使用するとき(テイストマイスター・フィルター・サーバーふた・コーヒーサーバーのみ)」の内容を守って使用する。

● 煮沸しない。
変形・破損の原因。

● ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。
本体内部にカルシウム分が付着し、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなるおそれ。
また、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因。

● 業務用として使わない。
故障の原因。

電源コード・差込プラグ



警告

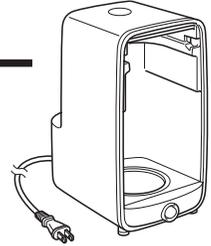
- 電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものをのせる・机の端にぶらさげる・挟み込むなど)
- 電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
- 抽出中に差込プラグを抜かない。
- ぬれた手で差込プラグの抜き差しはしない。

- 交流100Vで使用する。(日本国内100V専用)
 - 定格15A以上のコンセントを単独で使う。(タコ足配線での使用はしない)
 - 差込プラグにほりこりが付着している場合は、よくふき取る。
 - 差込プラグは根元まで確実に差し込む。
- 感電・漏電・けがのおそれ。火災・ショート・発煙・発火・故障の原因。破損した場合は、お買い上げの販売店または「連絡先→裏表紙」に記載のタイガーお客様相談窓口、修理受付サイトまで修理をご依頼ください。

注意

- 使用時以外やお手入れする前は、差込プラグをコンセントから抜く。
 - 必ず差込プラグを持って引き抜く。
- けが・やけどのおそれ。感電・ショート・発火・漏電火災の原因。壁・家具などの損傷の原因。

本体



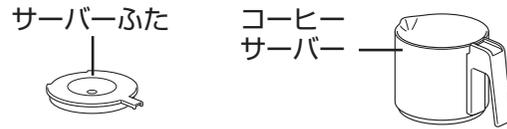
警告

- 本体は、水につけたり、水をかけたりしない。感電のおそれ。ショートの原因。

注意

- 本体を丸洗いや、本体内部や底部に水を入れたりしない。感電のおそれ。ショートの原因。

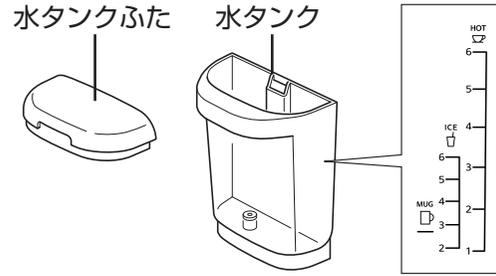
コーヒーサーバー



注意

- コーヒーサーバーは、専用のもの以外は使わない。お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。
- コーヒーサーバーの中にコーヒーが入っていない状態でのカラだきはしない。故障や火災の原因。
- コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。破損して、やけどやけがの原因。
- コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。破損して、けがの原因。

水タンク



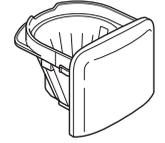
注意

- 水タンクに水が入っていない状態で通電しない。火災・故障の原因。
- 抽出中は、水タンクをはずさない。やけどのおそれ。水もれ・故障の原因。

末長くご使用いただくためのご注意

- 最小目盛未満、最大目盛を超える量の水を入れない。
- 水タンクに水以外のものを入れない。故障の原因。
- 水タンクに水を入れたまま放置しない。故障・変色・におい・腐敗・水もれの原因。

フィルター



注意

- 指定の大きさ以外のペーパーフィルターを、フィルターにセットして使わない。うまくドリップできないおそれ。水もれや故障の原因。

カップトレイ

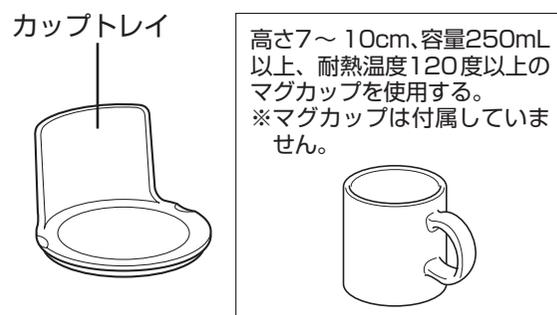
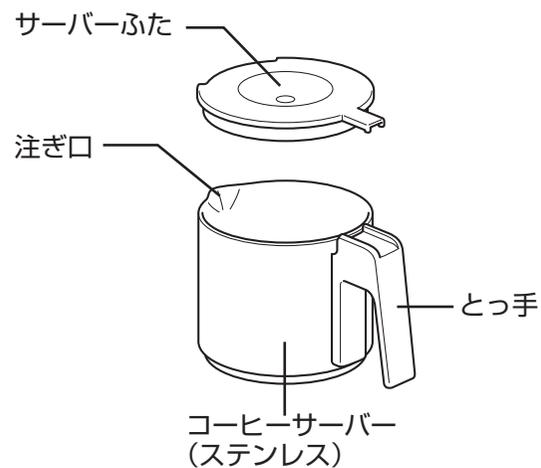
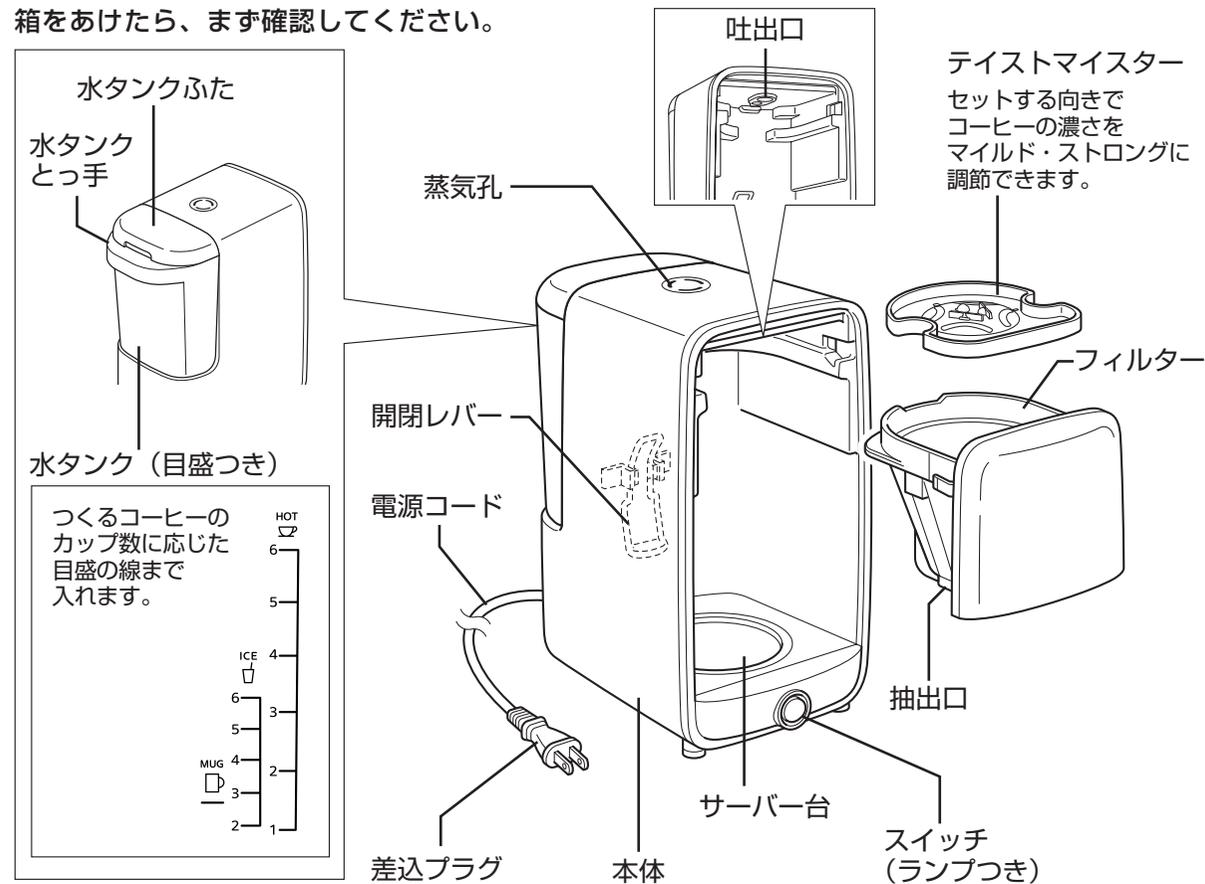


注意

- カップトレイを使う場合、付属のコーヒーサーバーは使わない。やけどやテーブル・敷物を汚す原因。
- マグカップに直接ドリップする場合、必ずカップトレイを使用する。お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。
- マグカップに直接ドリップする場合、抽出後に保温しない。故障や火災の原因。
- 指定のマグカップ以外は使わない。→P.6・11 お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。

各部のなまえと付属品

箱をあけたら、まず確認してください。



付属品

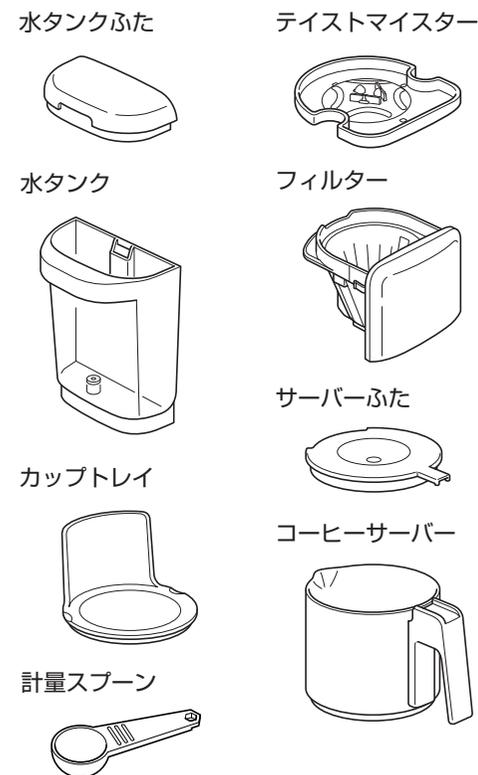
〈計量スプーン〉
すり切り1杯 約7g



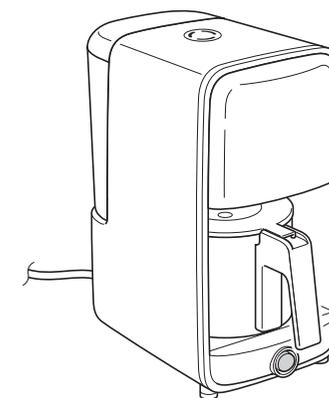
はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

各部品を水洗いして、ドリップで本体内を洗浄してください。
コーヒーメーカーをきれいにするのが、おいしいコーヒーづくりの第一歩です。

1 本体以外の部品を水洗いする →P.13



2 本体内を洗浄するために、 1~2回ドリップする →P.8~10



水是水タンクの「6」の目盛「6」まで入れる。
コーヒー粉やペーパーフィルターはセットし
ない。
ドリップ後のお湯はすてる。

ご注意

●水タンク以外に水を入れない。

☕ コーヒーをおいしく楽しむためのポイント

豆や粉は必要な分だけ買う。1週間から10日程度で使いきる量を買うようにしましょう。また、飲むたびに必要分だけミルで挽いてドリップするとよいでしょう。

豆や粉を保存するときは密封して冷蔵庫に。高温多湿に弱く香りがとびやすいので、密封できる容器に入れ、冷蔵庫など低温のところで保存しましょう。

なるべく早めに飲みましょう。冷めたり、風味がそこなわれてしまうので、ドリップした後は早めに飲みましょう。

この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものを「コーヒー粉」と表記しています。

代表的なコーヒー豆の種類と特長

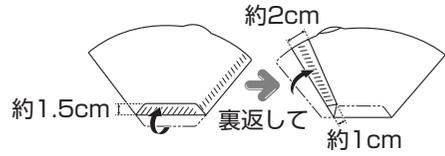
中味	酸味	苦味
●ブルーマウンテン	●キリマンジャロ	●マンデリン
●ブラジル	●モカ	
●エルサルバドル	●コロンビア	
	●ガテマラ	
	●ハワイコナ	



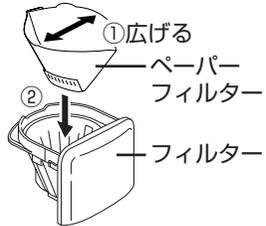
コーヒーをいれる (サーバーにドリップ)

1 ペーパーフィルターを折る

ペーパーフィルターは市販のものをご購入ください。(サイズ 1 × 2 または 102)



2 ペーパーフィルターをフィルターにセットする



ご注意

- ペーパーフィルターがフィルターからはみ出さないように奥まで収まる位置にセットする。

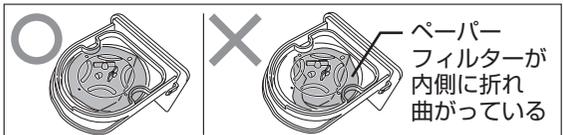
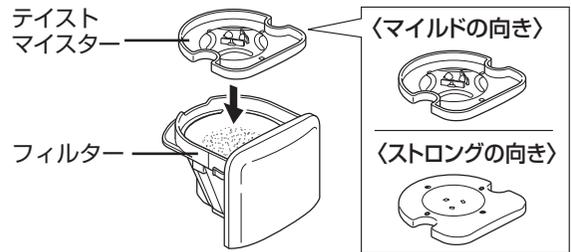
3 付属の計量スプーンでコーヒー粉をペーパーフィルターに入れ、上面をならす



アイスコーヒーをつくるときは、アイス用の粉を使いましょう。

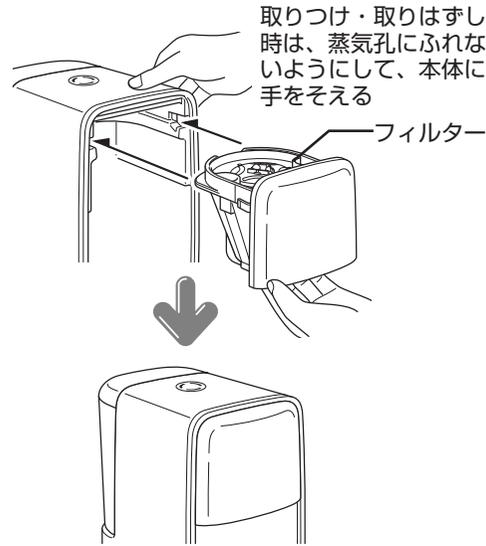
4 テイストマイスターをフィルターにセットする

テイストマイスターをセットする向きで、コーヒーの濃さをマイルド・ストロングに調節できます。



5 フィルターを本体に取りつける

コーヒーサーバーを本体にセットする前に、必ずフィルターを先に取りつけてください。



ご注意

- フィルターが本体に奥まで確実に入っていることを確認する。コーヒーが抽出されなかったり、あふれるなど故障の原因。
- ペーパーフィルターはフィルターの上からはみださないようにセットする。

コーヒー粉を入れる目安

コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。カップ数より少ない量はつくらない。

<ホットコーヒー>

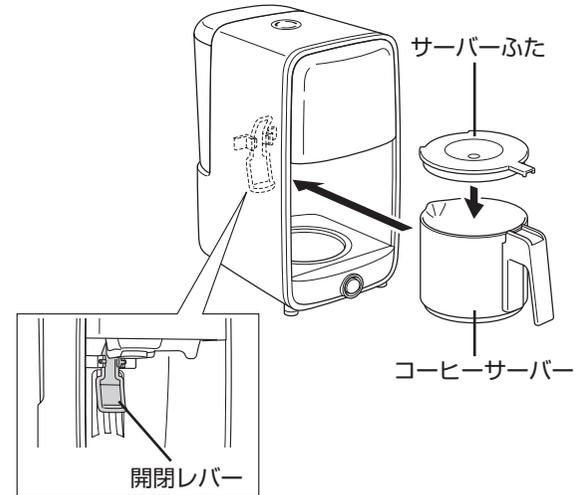
カップ数	HOT コーヒーカップ ☞ 約120mL コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンすり切り)
1 カップ	1.5 杯
2 カップ	2 杯
3 カップ	3 杯
4 カップ	4 杯
5 カップ	5 杯
6 カップ	6 杯

<アイスコーヒー>

カップ数	ICE コーヒーカップ ☞ 約60mL コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンすり切り)
1 カップ	—
2 カップ	2 杯
3 カップ	3 杯
4 カップ	4 杯
5 カップ	5 杯
6 カップ	6 杯

6 サーバーふたを取りつけ、コーヒーサーバーを本体に正しくセットする

コーヒーサーバーは、開閉レバーを押す位置に確実にセットする。開閉レバーが押されることで抽出口が開き、コーヒーがドリップされます。



ご注意

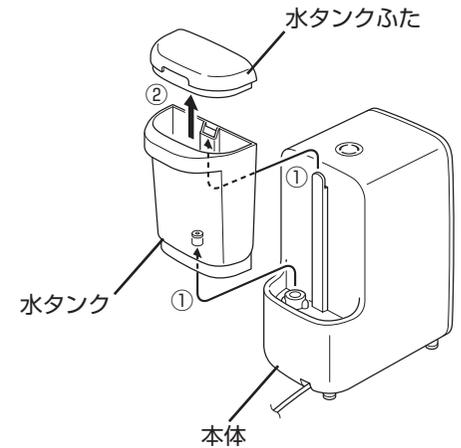
- コーヒーサーバーは奥まで確実にセットする。セット位置がずれているとコーヒーが抽出されなかったり、こぼれる原因。
- サーバーふたは必ず取りつける。取り付けないとコーヒーがこぼれる原因。
- フィルターよりも先にコーヒーサーバーをセットしない。開閉レバーが正しく動作せず、フィルターの抽出口が開かなくなりコーヒーが抽出されなかったり、あふれる原因。

7 水タンクに水を入れ、本体へ確実に取りつける

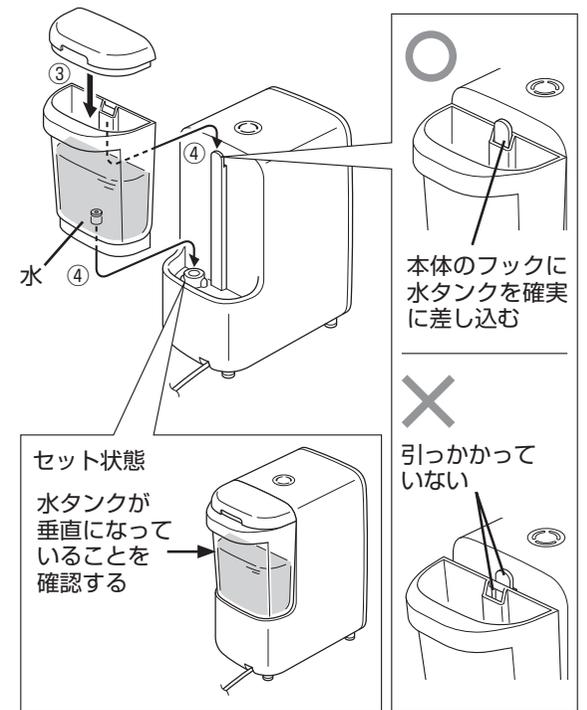
水を入れるときは、必ず水タンクを本体からはずさず。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、抽出量が多くなります。

つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れる。→ P.6

<はずす>



<つける>

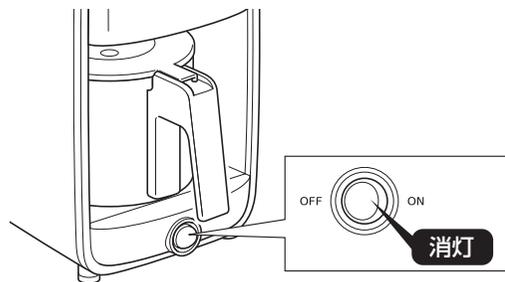


ご注意

- 水タンクを取りつけたあとは、本体からはずさない。本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
- 水タンクにお湯や熱湯を入れない。故障の原因。
- ☞の目盛「6」を超えて水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。
- 水タンクを本体にセットしたまま水を入れるとコーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。
- 水タンクは確実に取りつける。水タンクが傷むおそれ。

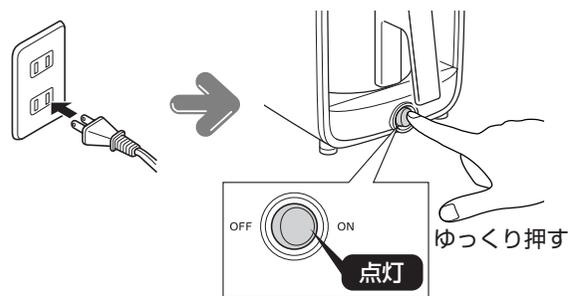
コーヒーをいれる (サーバーにドリップ)

- 8** スイッチが「OFF」になっていることを確認する
(ランプが消灯)



- 9** 差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にしてランプの点灯を確認する

ランプが点灯してから約 30 秒後にドリップがはじまります。



ご注意

- ドリップ中に差込プラグを抜かない。誤って抜いた場合は、いったんスイッチを「OFF」にして、手順9からやり直す。
- ドリップを途中で止めるときは、スイッチを「OFF」にする。しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。

- 10** お湯や蒸気が完全に止まったら、スイッチを「OFF」にしてコーヒーを注ぐ

コーヒーサーバーを取り出し、サーバーふたをはずして、カップなどに注ぎます。



- アイスコーヒーをつくるときは、グラスに8分目まで氷を入れてから、コーヒーを注ぎ、かきまぜて冷やす。
- 熱めのコーヒーを飲みたいときは、あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぐ。
- 保温するとき、スイッチを「ON」のままにする。保温時間は約 15 分までを目安にする。

ご注意

- 水タンクの水がなくなっても、しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。
- 使用中や使用後しばらくはサーバー台を触らない。やけどのおそれ。

- 11** 差込プラグをコンセントから抜く

- 12** 冷めてからフィルターを取り出す

ドリップ後のコーヒー粉はペーパーフィルターごと取り出します。

できあがり時間の目安

約3～9分でできあがります。
できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などによって変わります。

続けてつくる時

- ①本体が冷めるまで約10分待つ。
- ②必ず最後に水タンクを取りつけて再度ドリップする。

コーヒーをいれる (マグカップに直接ドリップ)

マグカップに、1杯分のコーヒーを直接ドリップすることができます。

- 1** ペーパーフィルターをフィルターにセットする→P.8

- 2** 付属の計量スプーンでコーヒー粉をペーパーフィルターに入れ、上面をならす→P.8

コーヒー粉を入れる目安

マグカップ (約180mL) 1杯分として、付属の計量スプーンすり切り 1.5 杯が目安です。

- 3** テイストマイスターをフィルターにセットする→P.8

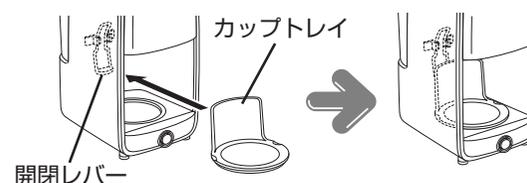
- 4** フィルターを本体に取りつける→P.8

ご注意

- フィルターが本体に奥まで確実に入っていることを確認する。コーヒーがあふれるなど故障の原因。
- ペーパーフィルターはフィルターの上からはみださないようにセットする。

- 5** カップトレイを図の向きで本体にセットする

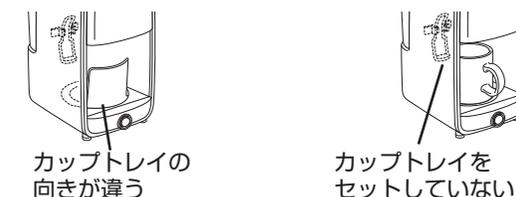
セットしたカップトレイで開閉レバーが押されていることを確認します。



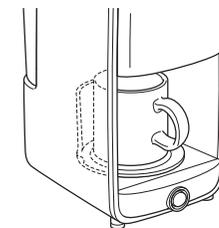
ご注意

- 開閉レバーが押されていないとコーヒーが抽出されなかったり、あふれて、やけどや故障の原因。

× 開閉レバーが押されていない × カップを直接セットしている

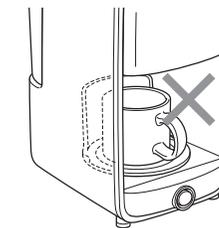


- 6** マグカップをカップトレイの中央にセットする



ご注意

- マグカップは高さ7～10cm、容量250mL以上のものを使用し、必ずカップトレイの上に確実に置く。またカップを本体に直接セットしない。コーヒーが抽出されなかったり、あふれて、やけどや故障の原因。



- 熱に弱い素材のカップは使用しない (耐熱温度120度以上のもの)。変形のおそれ。
- マグカップの形状や置きかたによっては、コーヒーが飛び散るおそれ。
- フィルターよりも先にカップトレイをセットしない。開閉レバーが正しく作動せず、フィルターの抽出口が開かなくなりコーヒーが抽出されなかったり、あふれる原因。

- 7** 水タンクに水を入れ、本体に確実に取りつける→P.9

水を入れるときは、必ず水タンクを本体からはずします。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、抽出量が多くなります。水タンクの目盛□まで水を入れます。

ご注意

- 水タンクを取りつけたあとは、本体からはずさない。本体にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
- 水タンクにお湯や熱湯を入れない。故障の原因。
- 水タンクを本体にセットしたまま水を入れるとカップからコーヒーがあふれるおそれ。

コーヒーをいれる (マグカップに直接ドリップ)

8 スイッチが「OFF」になっていることを確認する(ランプが消灯)→P.10

9 差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にしてランプの点灯を確認する→P.10

ランプが点灯してから約 30 秒後にドリップが始まります。

ご注意

- ドリップ中に差込プラグを抜かない。誤って抜いた場合は、いったんスイッチを「OFF」にして、手順9からやり直す。
- ドリップ中にマグカップを取り出さない。コーヒーがこぼれてやけどや故障のおそれ。
- ドリップを途中で止めるときは、スイッチを「OFF」にする。しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。

10 お湯や蒸気が完全に止まったら、スイッチを「OFF」にしてマグカップを取り出す

熱めのコーヒーを飲みたいときは、あらかじめ熱湯などでマグカップを温めておきます。

ご注意

- 水タンクの水がなくなっても、しばらくはドリップが続くため、お湯や蒸気が完全に止まるまで待つ。カップトレイにコーヒーが落ちるおそれ。
- 抽出後は保温しない。

お湯の出具合が悪くなったとき・いつもより抽出時間が長くなる時

クエン酸を使って本体内を洗浄する。

- ① フィルターとコーヒーサーバーを本体にセットする→P.8～9
ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。
- ② 水タンクにクエン酸約10g (大さじ1杯)を入れ、の目盛「5」まで水を入れてまぜる
- ③ ドリップする→P.10
- ④ クエン酸水がの目盛「2」まで減ったら、スイッチを「OFF」にする
- ⑤ 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ
- ⑥ コーヒーサーバーのお湯をすてる

11 差込プラグをコンセントから抜く

12 冷めてからフィルターとカップトレイを取り出す

ドリップ後のコーヒー粉はペーパーフィルターごと取り出します。

できあがり時間の目安

約3分30秒でできあがります。
できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などによって変わります。

続けてつくるときは

- ① 本体が冷めるまで約10分待つ。
- ② 必ず最後に水タンクをセットして再度ドリップする。

- ⑦ クエン酸水のおいをとるために、水タンクのの目盛「5」まで水を入れ、1～4回ドリップする
ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。
ドリップ後のお湯はすてる。

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→裏表紙」に記載のタイガーお客様相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

品名	ポット内容器洗浄用クエン酸 (約30g×4包入り)
品番	PKS型

※弊社のクエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

お手入れする

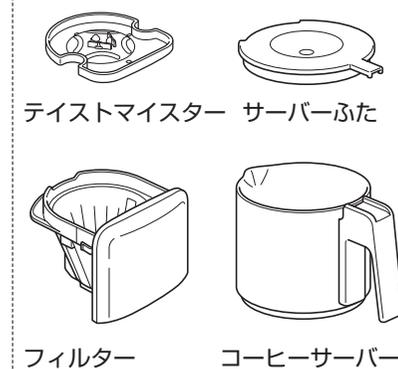
末長くご使用いただくために、こまめにお手入れして清潔を保ってください。

- ◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れする。
- ◆洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使い、十分に洗い流す。
- ◆スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使う。

使うたびに洗う部品



以下の部品は、食器洗い乾燥機や食器乾燥器が使用できます。



- ① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。
- ② 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。

ご注意

- 洗剤分が残っていると、樹脂などの劣化・変色の原因になるため、十分に洗い流す。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどを使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
- 水タンクのパッキンははずさない。水もれの原因。
- フィルターはこまめにお手入れする。コーヒーにふれるため着色することがありますが、性能上問題はありませぬ。

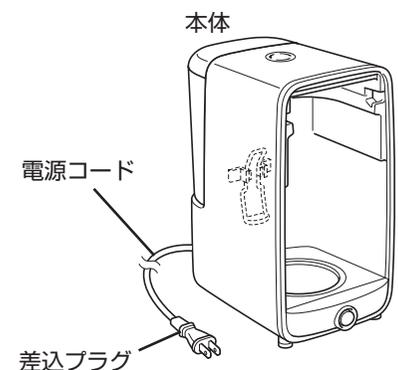
食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使用するとき (テイストマイスター・フィルター・サーバーふた・コーヒーサーバーのみ)

お使いになる食器洗い乾燥機や食器乾燥器などの取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

ご注意

- 必ず食器洗い乾燥機専用の洗剤を使用する。
- ヒーターや高温部の近くを避け、温度設定ができる機種は低温に設定する。

汚れるたびに手入れする箇所



〈本体〉

- ① 洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
- ② 乾いた布で水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。

〈電源コード・差込プラグ〉
乾いた布でふく。

ご注意

- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。
- 吐出口に汚れが付着した場合はふき取る。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた	参照ページ
ランプがつかない。	差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに、差し込む。	10
	スイッチを確実に押して「ON」にしていますか。	スイッチをゆっくり確実に押す。	10
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れる。	9
	水タンクが確実に取り付けられていますか。	水タンクを確実に取り付ける。	
	吐出口に汚れが付着していませんか。	お手入れする。	13
お湯の出具合が悪い。お湯がにおう。	—	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	12
コーヒーが抽出されない。本体からあふれる。	フィルターが確実に取り付けられていますか。	フィルターを確実に取り付ける。	8
	開閉レバーが確実に押されていますか。	コーヒーサーバーまたはカップトレイを確実に取り付ける。	9・11
コーヒーサーバーからコーヒーがあふれる。	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの☐の目盛「6」を超えて水を入れない	9
	フィルターが確実に取り付けられていますか。	フィルターを確実に取り付ける。	8
マグカップからコーヒーがあふれる。	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの□の目盛を超えて水を入れない。	11
	カップトレイ・マグカップが確実にセットされていますか。	カップトレイ・マグカップを確実にセットする。	11
	指定のマグカップを使用していますか。	指定のマグカップを使用する。	6・11
コーヒーが薄い。	ペーパーフィルターがフィルターの上からはみ出していないですか。	はみ出さないように確実にセットする。	8
	ペーパーフィルターが内側に折れ曲がっていませんか。	内側に折れ曲がらないように正しくセットする。	

こんなとき	理由	参照ページ
コーヒーがぬるい。(保温が効いていない)	抽出したコーヒーの量が少ない(1～2カップ)と冷めやすくなります。	10・12
	寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温効果が得られない場合があります。	
樹脂部品にキズ(欠け)のように見える箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	
樹脂などのおいがする。	使いはじめのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
吐出口付近に水滴がつく。	使用後は吐出口付近が結露しますので、本体が冷えてからふき取ってください。	

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

◆樹脂部品(傷んできたとき)

ご使用にともない汚れやおいがひどくなったり、破損したときは上記でお買い求めください。

◆コーヒーサーバー(破損したとき)

- ◆水タンク
- ◆水タンクふた
- ◆テイストマイスター
- ◆フィルター
- ◆サーバーふた
- ◆カップトレイ
- ◆計量スプーン

仕様

電源	100V 50-60Hz	
定格消費電力(W)	690	
最大使用水量*1 (L)	0.81	
抽出方式	ドリップ式	
外形寸法*1 (cm)	幅	15.4 (15.4*2)
	奥行	27.2 (24.6*2)
	高さ	30.1 (30.1*2)
質量*1 (kg)	1.9 (1.6*2)	
コードの長さ*1 (m)	1.2	

*1: おおよその数値です。

*2: < > は、カップトレイ使用時の数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら→P.14」をご覧ください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3修理を依頼される時

保証期間内 … おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき … まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけくわしく)

4補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

※材料調達や設備状況等によっては10年未満で供給できなくなる場合がございます。

5修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 … 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 … 製品の修復に使った部品の代金です。

6その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。